

市立病院

市立病院は医学の進歩を不断に吸収し、医の倫理の高揚に努めながら、より高度の医療を目指すとともに、心の通いあう親切な病院を目指しています。

市

立病院では田川地域の中核病院として、より良い医療を提供できるよう、現在、社会問題となっている生活習慣病の予防や治療、その合併症ともいえる腎疾患や循環器疾患の治療などに力を入れるとともに、在宅血液透析などの先進的な取り組みにも取り組んでいます。

医療界を取り巻く環境は厳しい時代になりましたが、自治体病院として「患者さんに安心と満足を提供できる地域密着型で魅力ある病院」を目指しています。

在宅血液透析の専門書出版



このたび、中本雅彦副院長および成清武文内科医長を中心に透析室スタッフ一同がかかわり在宅血液透析に関する解説書を出版しました。

した。当院では平成18年の人工透析室増床にあわせ、在宅での血液透析の推進にも積極的に取り組みできました。これまでの導入事例をもとに具体的なノウハウや患者さんの声も交え、わかりやすくまとめたバイブルともいえる本です。執筆した中本副院長は、在宅血液透析のメリットに「①時間的制約が少ないため社会復帰しやすい②生存率のアップにつながる③合併症を予防、コントロールできる」の3つを上げ、この本を読んで少しでも在宅血液透析の良さを知って欲しいと話していました。

田川市立病院経営形態検討委員会

5月28日、市立病院の今後の経営形態を考える「田川市立病院経営形態検討委員会」の初会合が市役所で開かれました。

市立病院は、医師の減少などを原因として非常に厳しい経営環境に立たされています。この委員会は外部の有識者5人で構成され、地域にとって市立病院が果たすべき役割はどのようなものなのか、そのために望ましい経営形態はどうあるべきか、といった検討が行われ12月をめどに市長に答申がなされます。また、会議の内容についても、今後お知らせしていきます。

結石でお悩みの方に

体外衝撃波結石破碎装置を導入しました

当院では、体外衝撃波結石破碎装置を使い腎・尿管結石を切らずに治す「体外衝撃波結石破碎術」を行なっています。

この装置を使用することにより、筋肉や他の臓器を傷つけることなく、結石のみを粉々に破碎することができます。破碎された結石は、尿とともに体外に排出されます。麻酔の必要や術後の痛みがほとんどなく体に傷痕が残らない画期的な治療法です。

特徴

- 体に傷がつきません。
- 治療時間が短く1時間以内で終わります。
- 副作用・後遺症が少ない。
- 入院期間が短く退院後の生活復帰も楽。
- 高齢者や他に疾患のある方でも安心。
- 再発の場合の治療にも最適。
- 健康保険が適用されます。

お知らせ 眼科診療の休診について

7月より常勤の医師が不在となります。このため、7月1日から当分の間、眼科の診療を休診させていただきますこととなりました。大変ご迷惑をおかけしますがご理解いただきますようお願いいたします。また、これに伴い6月1日から、新患の受付を休止させていただきます。